

勇壮に参道を練り歩く担ぎ手たち

# 勇壮 屋形太鼓

八幡の夏の風物詩、「太鼓まつり」が7月18、19日に行われ、一区、二区、三区、六区の屋形太鼓の担ぎ手たちが町内を練り歩きました。

同まつりは、高良神社の例祭で、約190年前(文政年間)に大きな屋形太鼓が町内ごとに作られ、太鼓を打ち鳴らしながら練り歩く姿に発展したとされています。

この2日間は、各区の法被姿の担ぎ手たちが、約20の屋形太鼓を担いで区内巡行を行い、「ドン、ドン、



ドンドンドン」と小気味よい太鼓の音に合わせ、「ヨッサー、ヨッサー」と威勢のいい掛け声を町内に響かせました。

19日の夕方からは、子ども屋形太鼓3基と、各区の屋形太鼓4基が同神社に集結して行う、まつり最大の見どころ「宮入り」を挙行。担ぎ手たちは、屋形太鼓を上下左右に激しく揺さぶりながら参道を往復。その勇壮な姿に辺りは熱気に包まれ、参道脇の観客からは大きな拍手と歓声が沸き起こっていました。



## 水の大切さ学ぶ

くすのき小 出張授業

7月3日、サントリーホールディングス株式会社の社員による水育「出張授業」がくすのき小学校で行われ、4年生91人が水について勉強しました。

この授業は、児童たちに自然の仕組みや水の大切さを学んでもらおうと、同社が取り組む出張授業を利用して行われました。

はじめに、同社員がスライドを使い、水は地球を循環していることを説明し、

濁った水を地層に流す実験を観察する児童たち

「濁った水を地層に流す実験を観察する児童たち」

「濁った水を地層に流す実験を観察する児童たち」

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

## プールで夏満喫

7月19日、さつき市民プールがオープンし、初日から約500人の家族連れらでにぎわいました。

この日、八幡市近隣の気象観測所が記録した最高気温は33.6度。午前中は雨もばらばらと降りましたが、午後からは少しずつ青空が広がり、日差しも照り付ける夏らしい天気となりました。

来園者たちは、バタ足の練習をしたり、友だちとビ

ーチボールで遊んだり。就学前の子どもたちも、幼児用のプールに浮輪でぶかぶかど、夏のプールを満喫していました。

お父さんと来園した東優太くん(7)は「プールは気持ちいいし、楽しい。夏休みはいっぱい来たい」と、にこやかに話していました。

同プールの営業は、8月31日まで。時間は午前9時～午後5時(入園は午後4時まで)。



プールで遊ぶ来園者たち



体に絵の具を塗り合ったりする園児たち

## 元気 いっぱい / ボディーペイント

橋本幼稚園園児110人

体に絵の具を塗り合ったり遊ぶボディーペインティングが7月2日、橋本幼稚園で行われ、3～5歳の園児110人が自分や友だちの体をキャンパスにして遊びました。

この遊びは、泥の感触がする絵の具を使い、その感触を体で感じてもらうとともに、開放感を味わいながら、普段はなかなかできないことを体験してもらおうと、毎年この時期に

行われています。

絵の具はテーブルごとに赤、青、黄など、6色が用意され、先生の合図で、園児たちが一斉に自分の好きな色があるテーブルに向かいました。

絵の具を手になっぴりと付けた園児たちは、歓声をあげながら元気いっぱいに友だち同士で体に塗り合ったり、手形を付け合ったり。違う色同士を混ぜて新しい色も作り、体一面をカラフルな色に染めていました。

遊び終わったら、絵の具を先生に洗い流してもらって、体をきれいに。仕上げにビニールプールにお湯を張った即席の温泉に浸かり、楽しく遊んだ体をピカピカにしていました。